

2004 10 October

平成16年10月1日発行
第537号



SAKURA



SUGI



UGUISU

い し か わ

C O N T E N T S

町が好き、人が好き、みんなで作る町が一番好き

- ふるさとの山が泣いている 2
- 自分たちの住む里山だから 4
- 子供たちも大好き！おばあちゃんの山草園 5
- 計画の推進に向けて 男女共同参画プラン 最終回 6
- サービスの利用と料金 介護保険 7
- 街かど探検隊 8
- こんにちは・みんなの広場 10
- 町史編纂室だよりほか 12
- ハッピースマイルほか 13
- 元気になるいい話ほか 14
- カレンダーほか 15
- 小さな美術館ほか 16





ふるさと山の山が泣いている

みなさんの家の近くや通勤、通学路に山がありますか。
幼少のころ山で遊んだ記憶はありますか。

最近子どもたちのそんな姿あまり見かけませんね。

山が荒れているから、危ないから：

子供達の声が山の中から聞こえないさみしい時代になってきました。





山とのつながり

昔から山は日本人の生活に欠かせない場所であり生活の支えでもありました。

家は木造、薪でご飯を炊き、お風呂を沸かし、木の葉で肥料を作り、季節には山菜、きのこ、山に祠を作り神様と崇めました。

子供達はクワガタにカブトムシ、秘密基地に鬼ごっこ、木の实を食べるくらいみんな山でいろいろなことを勉強しました。

離れていく里と山

なぜ私達は山との生活から離れていったのでしょうか。

生活様式の変化もさることながら、

木材の価格の低下が一番の原因と言えるでしょう。

昔は、子どもや孫が生まれると、いざという時のために杉や桧を植えました。急にお金が必要なきっかけきたら、その時に育った木を売ればいいから...という考え方でした。

ところが、輸入木材（国内消費量の7〜8割）が安く手に入る昨今では、国内産の木材も大きく値崩れしています。経済価値がないし手入れする意味がない。心の支えをなくしたような状況です。

そして、農業離れにより家と山の間にある田や畑が荒れ始め、ますます人と山の距離は離れてきてしまいました。



災害を引き起こす植林

植林によって造られた杉や桧の山は、根の張り方が浅いので、植えっぱなしで手入れを怠ると、日光が地面まで届かないことで下草も生えず



地面が露出して表土が流出し水害で一気に土砂崩れを起こしたりします。また、大量の花粉が地上に舞い降りることが出来ずに飛散し「花粉症」という現代病まで引き起こしています。





自分達の住む里山だから 楽しみながら守っていききたい！

「先祖から受け継いだ里山を後世に伝えたい。」中田郷活性化委員会委員長大竹芳節さんは、こう言います。山が経済的に元気だった頃は植林や間伐を盛んに行い、「この木が売れたらヘリコプターを買おう」などと冗談を言っていたこともあると振り返ります。

この委員会は「中田郷の伝統や文化、環境を守り地域を活性化してい

こう！」と立ち上がりました。その中には代々伝わる約150haの共有林があり、標高616mの「二本がな」も含まれています。

まずは、「中田の地区民に「二本がな」のような美しい景観の場所があることを知ってほしい」と有志が集まり少しずつ林道の整備や木の間伐の刈払いを行いました。今では賛同して作業に集まってくれる人たちも増えていきます。大竹さんは嬉しそうに話します。

自分たちも楽しく損得を考えずに山をきれいにする。ここでしか見れない木や花がある。土着のものを生かし見守っていく。それを見て若い人たちも次々に賛同して後をついてきてくれる。「お金には換算できない何かがある。」山の元気がなくなっただけではありません。今日も山は呼吸し、私たちを楽しませてくれる何かをひっそりとつたえてくれます。



中田の巨木を散策できる案内板

中田区・中田郷活性化委員会 プロフィール

過疎化と高齢化の進む集落で、地域づくりの一環として、里山の再生と、炭焼きの技術、民俗芸能の継承に取り組む。植樹、下草刈り、炭焼き窯とその技術の復活、写真展や巨木認定など地域資源の発掘、民俗芸能さらの保存伝承等を実施。地域の誇りと活力を生み出し、里山の文化と生活を継承していくことを目的としている。

また平成16年6月に行われた里地里山の保全に取り組む団体を表彰する「日本の里地里山30」に選出されている。



▶山は楽しみと語る大竹さん



子どもたちも大好き！ おばあちゃんの山草園

残暑も厳しい季節、家の近くにあるひんやりとした杉林の中、「こうして、山に来て木や山草から元気をもらっている。」「おばあちゃんの名前は富永富久（フク）さん。

15年ほど前から、近くの荒れていた杉山に「昔からあった山草を咲かせよう。」と家族と協力して山の手入れを始めました。

「昔、山は財産で生活には欠かせない場所だった。」と振り返ります。一日の畑仕事が終わると山に行つて薪を拾い、清水を汲み、そして季節には山菜や、きのこ、マメだんごを採つてきて夕飯の支度をする。当然、

山はきれいに手入れされている。そんな中に当たり前にあったのがエビネやレンゲシユウマなど四季折々の山草です。

「特別な手入れの方法なんてありませんよ。」当たり前のことだが下刈りをして風通しをよくしてあげれば適地であれば花は咲きます。

確かにノバラや笹の葉で覆われてしまった杉山は一度掘り起こしたり除草したりしなければならぬが特別な肥料や栽培方法はいらぬといひます。「山を本来の姿に戻しているだけ、過大に手を入れないで自然循環させていくことが大切、野草の種

だつて鳥が運んでくるよ。」そう昔の環境に戻してあげるだけだから。数年前から孫や近くの小学生が遊びに行きいつのまにか「おばあちゃんの山草園」と名前もつきました。子供たちが元気に走り回りいろいろな話をする。そして、また来るね」

「また行きたい」そんな声が聞けるのが楽しみです。「山が大好きだからおつくつじやない、山から元気をもらっているから」おばあちゃんは今日も山草園へ向かいます。



かわいい実をつけるレンゲシユウマ



あざやかなオレンジ色の節グロセンノウ





いしかわ 男女共同参画プラン 最終回

計画の

推進に向けて

推進体制の整備

(1) 町民参加による推進体制

男女共同参画社会の実現に向けて、各界・各層で様々な取り組みが行われるよう、気運の醸成を図ります。

地域ぐるみの取り組みによる意識啓発や慣習・慣行の見直し等、主体的な男女共同参画の形成に向けた取り組みや体制づくりの促進を図ります。

(2) 庁内推進体制

広範にわたる男女共同参画施策を関係各課が連携しながら展開できる機能を強化します。

全庁的に男女共同参画に関する共通理解・共通目標を常に持ち緊密な連携を図ります。

(3) 県・他市町村間の連帯強化

県・他市町村間の連携強化を図るとともに、他市町村の先進的事例や研修会等への参加により情報収集に努める。

みんなで話し合ってみましょう!

次のそれぞれの項目のあてはまる欄にチェックし、まわりの皆さんと比較し話し合ってみてください。(このチェックシートに答えはありません。)

それぞれに様々な考え方がありますが、皆さんが住みやすい社会=「男女共同参画社会」を築くためには話し合い理解し合うことが重要なのです。



そう思う どちらともいえない そう思わない

	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	
家庭で	男が家事をするのに違和感をおぼえる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	男は一家の経済的責任を負うべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	女は仕事よりも子育てや介護を優先すべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	共働きでも、子供の看病は母親だ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	母親は家族に迷惑をかけない範囲で働くべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	男は人前で泣くのは恥ずかしいと思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	女は言葉や態度に気がつけたほうがよい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	男性向き、女性向きの仕事はあると思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	細かいことに気づく女性は女らしいと思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	スポーツ万能な男性は男らしいと思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
デートの費用は男性が払うべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

男女共同参画社会の早期実現をめざして本計画を確実に推進していくためには、町全体が一丸となって取り組んでいく必要があります。特に、行政の果たす役割は大きく幅広い分野にまたがる本計画の推進のためには全庁的な取り組みが必要であり、従来、女性に関する施策として各課で実施されている施策を、男女共同参画の視点に立って見直し、総合的かつ計画的に施策の推進を図ることが大切です。

このため、基盤となる推進体制を整備強化し、全職員が人権尊重や男女平等意識を持ち、男女共同参画社会の形成をめざすという共通認識を持つことが必要となります。



●居宅サービスの限度額と自己負担額

要介護度	利用限度額	自己負担額	左記の利用限度額とは別のサービス
要 支 援	61,500 円	6,150 円	福祉用具購入費 1年10万円まで 住宅改修費20万円まで
要 介 護 1	165,800 円	16,580 円	
要 介 護 2	194,800 円	19,480 円	
要 介 護 3	267,500 円	26,750 円	
要 介 護 4	306,000 円	30,600 円	
要 介 護 5	358,300 円	35,830 円	

自己負担額はサービスを利用した場合の負担額です。

●施設サービスを利用した場合の負担額

施設サービスの一割 + 食費の一部(標準負担額) + 日常生活費 = 自己負担額

施設サービス費の一割 (要介護3の1カ月分の場合)		食費の標準負担額 (1カ月分)	
介護老人福祉施設	26,650 円	町民税 課税世帯の方	約 23,400円 (1日780円)
介護老人保健施設	29,400 円	町民税 非課税世帯の方	約 15,000円 (1日500円)
介護療養医療施設	38,500 円	生活保護 受給者等の方	約 9,000円 (1日300円)

●高額サービスについて

自己負担額の上限		左記の利用限度額とは別のサービス
町民税 課税世帯の方	37,200 円	1割自己負担額(保険該当部分)がある一定額(上限額)を超えたときは、その超えた分が払い戻され、負担が軽くなる仕組みになっています。
町民税 非課税世帯の方	24,600 円	
生活保護 受給者等の方	15,000 円	

●介護相談員

石川町では、介護サービス利用者のサービスに関する疑問や要望、苦情等の相談に応じ、介護サービスの質の向上を図るために、介護相談員を設置しています。介護サービスを利用して困ったこと、悩み、苦情・要望等を、あなたの地区の相談員にお気軽にご相談ください。

担当地区	相談員名	住所	電話番号
石 川	小針 昌代	長久保	26 - 3985
	斎藤 幸子	境ノ内	26 - 3644
沢 田	吉田 美江	沢井字深谷	26 - 7181
山 橋	小豆畑 豊	山形字大下	26 - 4482
中 谷	南條 質	坂路字野出ノ内	26 - 5507
母 畑	高木 春子	母畑字樋田	26 - 2814
野 木 沢	近内与四雄	中野字水内	26 - 1504

お問い合わせ先 保健福祉課高齢福祉係 TEL26 - 9124



介護保険の主な在宅サービスには、要介護度ごとに利用できる限度額があります。利用者は、この限度額の範囲内でサービスを利用し、費用の1割を自己負担します。また、施設サービスを利用する方は食費の一部、日常生活費なども負担します。

サービスの利用と料金

街かど探検隊

● ● ●
身近に行われている
楽しいイベントや
明るい話題などを
役場総務課まで
お寄せください。



谷沢／蓬田間をつなぐ 広域農道が開通

8月3日中田字曲沢地内「中田大橋」において広域営農団地農道整備事業石川地区開通式が行われました。
この農道は、農産物の集荷、出荷、販売体制の円滑化を図るため昭和62年から17年間にわたり工事を行ってきたものです。
この日は神事、テープカットに続き親子三世代夫婦（遠藤篤・ノブ子さん、遠藤武喜・三三子さん、遠藤喜一・京子さん）を先頭に渡り初めを行いました。地元の方々も関心が高く大勢の人が参加し開通を祝っていました。



キララ夏祭りに 多くの人出

8月7日新町・南町・荒町大通りクリスタルロードにおいて石川きらら夏祭りが開かれました。
強い日差しが照りつける中おなじみの、自衛隊音楽隊のパレードに始まり人気の浅草サンバ、愉快なひよっこ踊り、迫力ある学生ブレスなど楽しいイベントや多彩な出店に多くの人がだかりができていました。
日中は、強い日差し、夕方からはあいにく雨でしたが人の波は途切れず日傘や雨傘の華が大通りを飾っていました。



安心・安全 石川キララ隊が出発

8月3日石川警察署駐車場において安心・安全石川キララ隊（関根正行隊長）出発式が行われました。
この隊は「石川町から犯罪をなくそう！」と隊長が呼びかけ賛同した有志により結成されたものです。
出発式では石橋石川警察署長らが「このように多彩なメンバーが集まり細かいところまで目が届き、大変頼もしい。」と挨拶、協力体制の確認をしました。その後、おそろいのユニフォームに身をつつみ新町から駅前まで啓発チラシを配布しながらパトロールしました。



恒久平和を願い 町民平和祭

8月15日、役場分庁舎駐車場内平和の像」前において町民平和祭が開かれました。

平和の会酒井光巳代表が「近年少なくなってきた戦争体験者の声を後世まで伝えたい」とあいさつ。故生田目源治さんの「母を呼ぶ声」を酒井篤彦さんが代読、終戦時の子供たちの悲痛な叫びを語りました。続いて西川穂高さん、相楽百合子さんが「核兵器廃絶・不戦・平和の町宣言」を読み上げました。

今回の式典には原爆の落ちた広島島の焼け跡から採火され、現在まで守り続けられている「こころの灯」が石川町に初めて灯されました。

夏休み最後の思い出 マスコックみ大会

8月22日、山形の横山川特設会場において「第3回山橋こどもマスコックみ大会」が開催されました。

この大会は、子供たちの豊かな人間形成と地域の交流、親睦を図るためオール山形ソフトクラブ、山橋地区青少年健全育成推進協議会の主催により続けられています。

夏休み最後の日曜日となったこの日は地区の子供たち及び保護者など約150人が参加し、放流された2ジマス約700匹を大きな歓声を響かせ追いかけていました。



野木沢で町内初の 道路養子縁組

8月31日、役場分庁舎において町内初となる道路養子縁組制度(アダプトロード)の調印式が行われました。

この制度は、日ごろ道路を使用する皆さんがボランティアとして道路の環境整備(こみ拾いや除草)美化作業(花の植栽)などを行い道路を愛護していくことというものです。

この日は、草野荘蔵曲木区長、鈴木紘一塩沢区長、二瓶政重中野長寿会長が調印を行いました。

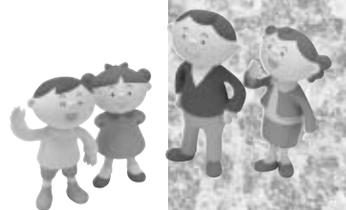
また、町からは支給品として軍手、花壇等へ表示する看板を贈呈しました。



ご ん に

みんなの広場

ち は



青春ど真中



高田 鈴木 直美さん
(23歳)

Q & A

Q 職業 ビバホーム石川店に勤務しています。

A 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか

Q 女子フットサルクラブに所属しています。4月に発足したばかりなので人数が少ないのですが楽しく練習しています。なでしこジャパンを目指して

A 他には、ジオンというクラブで年に一度ゴミ拾い、花見 海水浴を楽しんでいます。

Q 将来やってみたいことや夢を聞かせてください

A 女子フットサル大会に出場し勝つてみたいです。

Q 町政に望むことはなんですか

A 商店街の空き店舗をなくし、もつと人が賑わうようにしてほしいです。また花火大会を復活してほしいです。

Q 最後に理想のタイプは

A 思いやりがあって価値観が同じ人です。

次回は、鈴木さんの紹介で

西牧 大輔さんです。

ほのぼの 二人三脚 Q & A



住所 / 母畑字前 / 内

吉田 源二さん (80歳)
八ナさん (78歳)

Q お二人は何人ですか

A 子どもは2人授かり、孫が3人、ひ孫が4人になりました。

Q 結婚されて60年、思い出を聞かせてください

A 私たちは昭和18年4月に結婚、葉タバコ、山林、炭焼きなどで生計を立てておりました。当時はいろいろな仕事をして2人で苦労したことを覚えております。

Q 現在はスイカや花を作ったり竹炭を焼いたりしてのんびり過ごしています。

Q お二人の楽しみは何ですか

A ひ孫の成長がなにより楽しみです。学校の行事やいろいろなイベントと一緒に参加しています。

Q 石川町の一番好きなところを教えてください

A やはり地元之母畑温泉郷です。年に何度かのお湯入りを楽しみにしています。

Q 町政に望むことは何ですか

A 沿道に花を植えたりするボランティアの場があればいいと思います。

私の好きな石川・変えたい石川

聞い て み ま し た 町 の 声

新屋数字石船

郷 隆さん

私のふるさと

東京都中野区



境ノ内

遊佐利江子さん



あなたの故郷はどんな所ですか

東京23区の西部、都心部に近いため利便性がたいへん高い人口約31万人の東京都中野区です。

私の実家は野方町にあります。中野サンプラザのある中野駅周辺へは徒歩でいける距離にありましたが、田園や畑が広がり幼少の頃は小川でエビガニや魚をとったことを覚えています。

現在は環状7号線が出来た事により住宅や商店が建ち並び昔のような自然は見られなくなりました。

いつ、石川町に来ましたか

昭和48年に来ました。

石川町の印象は

山や海に近く、気候が温暖で暑くもなく寒くもなく自然に恵まれ子供を育てる環境が整っていると思います。私は登山と水泳が好きなので、近くにはたくさん山やプールがあるので自分でも楽しんでます。

町政に望むことは何ですか

川に生活雑排水が入りこんでいます。下水道の整備を早急に行っていただきたいです。また、近くに耳鼻科や皮膚科の専門医がないため総合病院をつくっていただきたいと思っています。

「私のふるさと」は、町外から石川町に来られた方々を紹介していきます。6地区を巡回し、みなさんの生まれ育ったふるさとの思い出、石川町の印象などをお聞きしています。登場したい方は、総務課広報聴係までご連絡ください。

心から石川町が好きです！と言えぬように



子供たちが安心して勉強できる環境を！

今、どんなことをしていますか
約20年前からはじめたりんごを中心にしたさまざまな果樹栽培を行っています。また、5年ほど前から果樹の直売所をオープンしました。

この直売所は桃の販売において福島市などの産地に名前負けしてしまい、市場ではなかなか評価されなため、直接お客様に販売しおいしい桃を知ってほしいと始

めました。消費者の皆様から生の声が聞くことができ生産する励みになっています。また、いろいろなお客様のニーズにこたえるためブルーベリーやプラムの栽培などにも取り組んでいます。

どんなところが好きですか

春には桜、桃、なし、さくらんぼ、りんごの花が次々と咲きます。季節の色が風景に溶け込んで安らいだ気持ちにさせてく

れます。またこれからの季節、那須連峰に沈む夕日は最高に美しいです。

そしてまわりの人たちも人情味があつてとてもあたたかいです。

そんな環境の中、子供たちも素直で何事にも一生懸命取り組むすくすく育っています。

どんな将来を望みますか

子供たちを安心して育てることのできる環境の充実です。勉強の場所や一日中走り回って遊ぶ施設があまりなく、多くのみなさんが他町村へでかけて行くのが現状だと思っています。安心して勉強できる図書館や山の地形を生かしたアスレチックや滑り台などがある公園があるといいですね。そして地産地消です。地元で買える物

したり地元の人へ販売すること

により生産者、販売者、消費者全体の安全・安心の意識が

強くなるとおもいます。



町史

編纂室だより

86



このたび、渡辺直蔵宛の明治22年（一九八九）1月29日付吉田光一書状と、それに添付した「石川協同会趣旨」が発見されました（渡辺実氏収集文書）。これらの文書から、かつての民権家で当時石川村長であった吉田光一の愛郷心を探ってみましょう。

吉田光一の石川協同会設立計画

停滞していた郡内

吉田は「石川協同会趣旨」の中で、石川郡の現状を次のように述べています。本郡は産業が盛んでない。教育も振るわない。商工は少しの進歩もみられない。今、帝國議會開設の時（明治23年11月）に当たり、本郡の名

譽を保ち、各郡と実力を同じくし、各郡と肩を並べることが出来るか。ため息をつくばかりだ。しかも郡内は意見が分かれ、方向はバラバラだ。

吉田の愛郷心

それではどうすれば良いのでしょうか。吉田は、一本の矢は折れやすいが束にすれば折れにくいということわざを引き、郡内の「協同一致」による現状打開を提案しました。続いて、本郡にあつて己を愛し、家を愛し、郷土を愛するものは、本会に協賛して本郡の将来の福利増進を計画しようではないか、と呼びかけています。

自分の力で

吉田はこの「石川協同会趣旨」を、当時初代の山橋村長であった渡辺直蔵に送り意見を聞いており、

「ところが、「石川協同会」は設立には至らなかったようです。しかし吉田は、それ以前から自ら養蚕を営んだばかりでなく、石川郡蚕糸業組合長に就任していました。また、明治二七年には石川郡産馬組合組長となり、「趣旨」の実現に実質上取り組みました。同二五年六月の石川義塾設立も、「趣旨」の実現であったわけです。



「石川協同会趣旨」

完全学校週5日制対応事業

今回は、夏休み期間中に行われました。中央公民館企画ほくもわたしもチャレンジャーを紹介します。

一休さん体験

7月31日（土） 16名参加
長泉寺

長泉寺住職の西川一英さんから長泉寺の歴史についてお話しを聞き、自分の願い事を込めながら写仏を行いました。次に座禅の仕方の説明を受け、本堂で10分間の座禅に挑戦しました。ほとんどの子ども達が初めての体験で、ちよっぴり緊張しながらも、とても立派にできました。その後本堂のお掃除をして、昼食では食の大切さのお話も聞きました。



鉱物発掘と標本づくり

8月7日（土） 25名
歴史民俗資料館・和久観音山鉱山跡

今回は、歴史民俗資料館の鉱物ふれあい講座と連携し資料館の鉱物見学と和久観音山鉱山跡の見学・鉱物収集をしました。和久観音山鉱山跡では、保存会のみなさんの協力で、鉱物跡の見学をしたあと長石や石英、雲母、電気石などを拾いました。午後からは、拾ってきた石で標本づくりをしました。

HAPPY Smile

ハッピー
スマイル



「ハッピースマイル」では、1歳から3歳までのお子さんの写真を募集しています。

応募方法は、お子さんの写真、名前、誕生日、電話番号を明記して、封書で役場総務課広報広聴係までお便りください。後日担当が撮影にお伺いします。応募多数の場合は、掲載できない場合もありますのでご了承ください。



塩田真奈美ちゃん



塩田真沙美ちゃん

今回はかわいい“ふたご”ちゃんです

中田字高野 平成15年2月27日生まれ 幸男さん・玉枝さんの次女・三女

「生まれは小さくとも笑顔のかわいい娘たちになりました。ケンカはもちろん、行動も一人前の二人です！」



みんなでエコライフ

61

家族団らんを！ できるだけ

家庭・オフィスでできる
省エネのはなし

空いた部屋の照明や冷暖房は切るようにしましょう。



暮らしの豆知識

住まいの防犯対策あれこれ

住宅を対象とした侵入窃盗は年々増加の傾向にあります。侵入の手口も錠をあけたり、ガラスを破ったりとさまざまです。戸建住宅とアパートなどの集合住宅では、侵入の特徴が異なりますので、住まいにあった防犯対策を講じる必要があります。

戸建住宅の防犯対策

開口部の強化

戸建住宅では1階の開口部が狙われやすい傾向にあります。特に窓ガラスを破って侵入されるケースが多く、外から見えにくい位置にある窓には注意が必要です。

窓には、外から見えにくい位置に補助錠を取り付け、小さい窓には面格子を取り付けましょう。掃き出し窓のような大きな窓は、破られにくい防犯ガラスに取り替えることも有効です。玄関、勝手口

は、防犯性能の高い錠に取り替える、補助錠を取り付けるなどの対策を講じましょう。

敷地に入られないようにする

泥棒の多くは、住んでいる人と同じように、門扉を開けて正面から敷地内に入ります。カギ付きの門扉で敷地への侵入を防ぎましょう。敷地への侵入を防ぐことは、泥棒だけでなく放火など他の犯罪の被害を防ぐためにも有効です。

また、泥棒は人目につくことを嫌がり、敷地を囲う塀や垣にも気を配ることで、侵入されにくくすることができ、高い塀はフェンス（さくや生垣）に替える、生垣は定期的な剪定するなどして、家の周りの見通しを良くしておきましょう。

最後に、日頃から隣近所と情報を交換し、地域で防犯意識を持つことに心がけましょう。

食改だより



「いただきます」は誰に言う？

毎日の食事ではもちろん、学校給食では当番さんの合図で「いただきます」と当たり前のように言っていますが、誰に対して言っているのか考えたことはあるでしょうか？もしかして、学校の子供達は「なんとなく」「先生に」なんて答えが返ってくるかも知れません。

手軽に食べたい物が手に入る世の中ですが、おいしく食事を食べられるのは誰のおかげか考えてみましょう。

例えばお米は、田んぼの土作りから始め、春には田植えをし、水の管理や雑草取りをして、秋に稲刈り、乾燥、精米などを経て、いつも食べているお米（精白米）となって家庭に届きます。たくさんの手間が掛けられて、おいしいご飯が食べられるのです。お米だけでなく全ての食べ物が、たくさんの人達によって時間と手間をかけ、毎日の食卓が成り立っているのです。

今日では、米作りを始め、食を取り巻く一連の流れが分業化・効率化・簡便化され、つながっていることが見えにくくなっていて、有り難さが薄れているようです。食べ物はどんな手間がかかっているのかを知り、育てた自然と人に感謝の気持ちを忘れないで、心からの「いただきます」を言いたいものです。

元気になるいい話



「大事な要指導」

健診やドックを受けると、結果は「異常なし」「要指導」「要精検」の3つに分かれています。

「異常なし」は当然の結果、「要指導」は「要精検」ほど悪くないのでぜんぜん気にならないという人がたくさんいます。

「要精検」にならなくてよかった！と、ホッとする方も多いようですが、実はその前の「要指導」の医者にかかるほどではなくて自分で生活を振り返るこの段階が大変重要で、この時期にどう注意していくかで、病気になる人とならない人の差

になります。

注意をしないということは、「次の健診まで365日変わらない生活をする」ということで、このことが特に糖尿病や高脂血症、高血圧などの生活習慣病が知らず知らず進んでいくこととなります。

「要指導」は生活の中で注意して、それ以上悪くならないよう少しでも状態をよくすることがねらいなのですが、「要精検」の幅は治療の対象ということになりますので、病院で診てもらって「この位なら大丈夫」といわれても生活での注意をすることは大切です。

国保だより

保険証を大切に！

保険証 正しくは「国民健康保険被保険者証」といいます。

保険証は国保の加入者であるという証明書であり、お医者さんにかかるときの受診券の役割をはたすものです。大切に取り扱いましょう。

急病などにそなえて、必ず手もとに保管しましょう。

他人に貸したり、借りたりしてはいけません。

コピーしたもの、有効期限が切れたものは使えません。

お医者さんにかかるときは、必ず窓口で提示しましょう。

職場の健康保険などに加入したり、他の市町村に転出したら使うことはできません。すぐにお返してください。

- ・引き続き診療を受けるときも、月が変わったら提示してください。
- ・保険証が変わったときは、必ず新しい保険証を提示し変わったことを伝えてください。

保険証の有効期限
平成16年9月30日
になっていませんか？



この保険証は、もう使えません。至急、役場窓口で交換してください。

MEMORY メモリー コーナー CORNER

(平成16年8月1日～8月31日まで届出分 敬称略)



こんにちは 赤ちゃん

氏名	保護者	住所
生田目詠斗 (えいと)	(信宏・亜希)	沢井
松下竜大 (りゅうた)	(亮介・貴子)	沢井
迎好夏 (このか)	(正寛・洋美)	矢ノ目田



カップル誕生

新郎 新婦 (出身地)

瀬谷 保洋 (湯郷渡) ・安治 美穂 (西郷村)
近藤 誠次 (沢井) ・吉島 珠希 (東村)



おくやみ

氏名	住所
関根 一布	母畑
大竹 伯子	中田
緑川 シチ	豆ヶ平
佐藤 美正	曲木
富岡 フク	下泉
秋山 ハツ	石田
金澤 キクイ	谷地
西牧 徳夫	双里
藤島 清野	湯郷渡
三瓶 佐	大字新屋敷
田村 顯夫	古館
戸村 トメ	山形
伊藤 嘉平次	長久保
富岡 カネ	大沢

10月 October

15	心配ごと相談 (10:00～)	老人福祉センター
16	野焼き祭り (17日まで)	母畑レークサイド
17	在宅当番医	味原医院
18		
19	すくすく教室 (9:30～)	保健センター
	なんでも相談 (13:00～)	老人福祉センター
20		
21		
22	石晶祭	石川中学校
	なんでも相談 (13:00～)	老人福祉センター
23	みなみっ子フェスタ	南山形小学校
	沢田中学校学校祭 (24日まで)	沢田中学校
24	在宅当番医	中島病院
	若鷲旗少年ソフトボール大会	町民グラウンド
25		
26	交通事故相談 (10:00～)	石川町役場
27	1歳児健診 (9:30～)	保健センター
	心配ごと相談 (10:00～)	老人福祉センター
28	3歳児健診 (13:30～)	保健センター
29	風しん予防接種 (12:30～)	保健センター
30		
31	在宅当番医	中島病院

11月 November

3	在宅当番医	ひらた中央病院
4	1歳6ヵ月児健診 (13:30～)	保健センター
5	心配ごと相談 法律相談 (10:00～)	老人福祉センター
6	沢田子どもフェスティバル	沢田小学校
	母畑小フェスティバル	母畑小学校
7	在宅当番医	中島病院
	中一小学習発表会	中谷第一小学校
8		
9		
10	ポリオ (小児マヒ予防) 殺与 (12:30～)	保健センター
	ひまわり教室 (9:30～)	保健センター
	2歳児教室 (9:30～)	保健センター
11	3～4ヶ月児健診 (13:30～)	保健センター
12		
13	野木沢小フェスタ	野木沢小学校
14	全国ミニバス大会福島県予選県南地区大会	クリスタルパーク石川
	在宅当番医	田中内科医院
15		

今月の納期

10月25日までに納めましょう

町県民税 (3期分)
介護保険料 (4期分)
国民健康保険税 (4期分)

小さな美術館

第211回
中谷児童館

施設の紹介

春は桜。秋には真っ赤なもみじ。館庭内で美しい自然の四季を感じながら、9名の子どもたちが元気いっぱい生活しています。



添田 鷹さん

小木 優美さん

近内 優斗さん

坂本 茉有紀さん

阿部 光汰さん 岩崎 雅樹さん 鮎沢ほのかさん
近内 俊介さん 山口 萌さん

春のだんご虫からアリ、カタツムリ、セミ、バッタ、カマキリと虫さがしが大好き。子どもたちは、自分で見つけた虫や捕まえた虫を思い出して作りました。

編集後記

山が大好き!という人はいっぱいいます。登山にキャンプ、ハイキング。でも家の近くの山は好きですか?と聞かれると...困ってしまいますよね。

ひとえに山といっても誰も手をつけられない「奥山」と、人が手を加えることのできる「里山」があります。奥山は、地球創生の歴史の中から脈々とつくられてきたもので、里山は人間とともに歩んできました。社会や経済が変わったからなくなってしまうものではありません。後世に、呼吸する大好きな山を残していきたいですね。(吉田知克)

町民憲章

1. 自然と文化を愛し 豊かな町をつくりましょう
1. 親切と勤労をむねとし 住みよい町をつくりましょう
1. 歴史と未来をみつめ 誇りある町をつくりましょう

ふるさとの花だより



ミソソバ(タデ科)

山地や里山の水辺に普通に見られる一年草。似た種類は多いが、多くの地域では本種がもっとも普通に見られる。花は紅紫色、または白色でコンペイトウのような花序を作る。

(写真提供 / 関根政信さん)

表紙の 登場人物

外植保育所に通う前田優花さん(左)と妹の恵花さん(右)真花さん(中央)祖父の庸さん(左)祖母の昭代さん(右)です。



町の人口

9月1日現在住民基本台帳

	19,073人(- 27)
男	9,322人(- 9)
女	9,751人(- 18)
世帯数	5,581戸(- 5)

()内前月比